

# OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第48号

2011年11月5日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061横浜市南区大岡2-31-1

## もくじ

平成23年度 学生研修旅行	2～3
第25回学園祭 フェスタ・ヨコハマ	4～5
学生生活に関する アンケート	6～8
学習センターニュース (入学者の集い/学位記 授与式/卒業論文web掲 載/事務室リニューアル/ まなびー募金報告)	8～9
Kーサポートからの お知らせ	9
学生サークルからの お知らせ/同窓会か らのお知らせ	10 ～11
学習センターからの お知らせ	12



神奈川(みなとみらい)



蟹にちょっかいをだす猫 (渡邊慎介所長撮影)

## 平成23年度学生研修旅行 Kーサポート バス研修旅行・行事チーム 村田 カズ子

今年度のバス研修旅行は、10月5日(水)に“**「緑のダム」横浜の水源を訪ねる**”がテーマで実施された。目的地は愛川町半原の**宮ヶ瀬ダム・水とエネルギー館**と**山梨県南都留郡道志村**の横浜の水源である**かん養林・源流の森**である。

昨年同様、黄色の半被姿の男性チーム員と放送大学旗が目印になり、スムーズな受け付けが横浜西口天理ビル前で済み、42名の学生と6名の大学職員と先生。総勢48名が観光バスで定刻、8時30分に横浜西口を出発するも、宮ヶ瀬ダムに着くころには天気予報通り、雨模様になる。

ところで、宮ヶ瀬ダム建設当時の話をご存知でしょうか？神奈川に生まれ一度も他県に居住したことのない私。神奈川県で唯一の村、清川村でダム建設話が持ち上がり、故郷が水没するという。厚木の在から(清川村から)小田原の会社に通っていた職場の先輩の戸惑いを目の当たりにした昔が思い起こされた。昭和40年代のことである。

代替え地への移転など、幾多の困難を押して、発表から29年の歳月を経て、2000年(平成12年)12月に完成されたとパンフレットに記録されていて、何と長い年月だったことか？その間に家庭に入り、寿退社をしていた私から清川村の記憶は薄れていたのが事実である。

ところが、宮ヶ瀬ダム付近が観光地として知られるようになり、特に、クリスマス時期のジャンボツリー発祥の地として近年有名になっていた。8年前、ツアー(仕事)で再び訪れることになり、宮ヶ瀬ダムの記憶が蘇ったのである。宮ヶ瀬ダム建設時に切られる運命にあった自生の30mのモミの木を当時の宮ヶ瀬ダム建設所長と地元の有志が宮ヶ瀬地域のシンボルにと残し、最初は村民で祝っていたクリスマスの集いが近隣に知られるようになり、現在は一大イベントになっている。

昨年の2010年がダム完成から10周年、宮ヶ瀬クリスマスの集いも25回となり、シンボルツリーのクリスマスイルミネーションの輝きは村民のかけがえのない宝になっている。

今回、私たちが訪れたのは清川村ではなく、対岸の愛川町半原の宮ヶ瀬ダム「宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館」。

傾斜35度のインクライン(勾配鉄道)利用でダムの堤体観察とダムサイトに楽々降りる事が可能。35度の急勾配は刺激的な体験ゾーンでもあったかと。因みに、高尾山(小仏トンネル上)の観光ケーブルは日本一の勾配で31度と案内されてい



る。

る。

生憎の雨の中での観光放水だったが、ビューポイントの堤体正面の橋の上は小学生の団体が埋まっていた。3. 11の震災以後は節電もあり、放水日も限られ、7分の放水が4分になったとはいえ、1秒間に30m<sup>3</sup>の放流はダイナミックな人口瀑布。童心に戻っての感動の体験であった。



往路の道路の混雑で11時ジャストの放水に間に合うか気を揉んだ。滑り込み

セーフ。

行程は予定通りに進み、ダムの観光放水見学の後は、水とエネルギー館2F レクチャールームで“宮ヶ瀬ダムの概要・役割・周辺施設などの説明”映像30分で学びの時を。



そして、1Fレストランで昼食と歓談、集合までフリーで過ごし、ウォーターミュージアム見学など各自で。特に、今回は昼食タイムの座席をレストラン側の協力を得て、アットランダムに指定。初対面の学生、また先生方との会話に各テーブルでは、尽きない話題で盛り上がり、ウォーターミュージアムの見学時間が取れなかった人もあったのでは。

『道志七里』道志村は約28キロの道に沿って村落があり、R413の津久井側は整備された道路であるが両国橋先からの山梨側は道も狭く、山間に入って行く。台風12号、15号の被害を受けて道志川河岸には倒された大木が何本もみられた。



道路の欠落も一部あり、肝心の源流の森の橋の崩壊で森への散策が不可になったとの連絡を間際になり受けていた。天気が良ければ、沢の入り口でのレクチャーの期待

も、この悪天候で困難になり、途中、近代水道の父・ヘンリー・スペンサー・パーマー氏（英国人）ゆかりの獅子頭共用栓（レプリカ）を見学してから横浜市水道局の水源林管理所



で所長からの話と水源林のビデオ鑑賞になった。水道局キャラクター・はまピョン（カエル）のマスコットとハンカチもお土産に頂く。

高校生の孫娘が最近、ボランティアでかん養林の間伐に来たことを知り、成長した姿に感心したが、水道局のホームページを開くと詳細を見ることが出来る。

クレソン生産では日本一の道志村の『道の駅・どうし』に帰路立ち寄り、道志川の源流、山伏峠標高1100m（この近くに源流の森がある）を超えると相模川の源流、山中湖である。

この後、東富士五湖道、御殿場から東名高速道で横浜までの帰路になる。

道志村とは“横浜市民ふるさと村”友好協定書が平成16年に交わされ、村内の施設の宿泊や利用が優待される。道志川の的様伝説（源頼朝）やみなもと館での手作り体験など興味深い。

今年度も、チーム員による資料作りと発表は特筆したい。『横浜近代水道の始まり』永井藤樹さん、『ダムは』堀 誠さん、『おいしい水と水道水』島田貞子さん、『道志村について』大木陸夫さん。バス車中での渡邊所長先生と藤原一繪先生のミニ講義は参加者のみの特典か。

参加者に提出頂いたアンケートではどんな意見が聞かれるのだろうか？

今回はキャンセル待ちの3名も、参加できたので次回は申込みをお忘れなく。

全てにご指導頂いた奥田教務係長、最後までお世話に下さった原田先生、参加下さった皆さん、大変お世話になりました。有り難うございました。

## バス研修旅行“「緑のダム」”に参加して

吉川 道子

横浜の美味しい水のルーツを知るべく、10月5日（水）雨の朝総勢48名の参加者は横浜駅西口より出発。私にとっては初めての放大研修旅行なので少し心細い思いでしたが、黄色の半纏に大学旗を掲げたチーム員が手際よく乗車案内資料の手渡しと行き届いた行動により安堵し車中の一員となれた。

バスが動き出し進行係の挨拶等々に続き、横浜近代水道の事、ダムとは、道志村について、おいしい水は、等大変詳しい調査発表がされ流石大学生チームだと聞き入ってしまった。何しろ近代水道創設は百二十年前にも及ぶと言うのですから事前学習は大いに参考になった。



まず宮ヶ瀬ダムに向かった林道は晴れた日でも午後になると霧が立ちこめると言われる地域。雨の車窓は緑で色どられながら膨大なダム近くに到着した。インクラインは急傾斜を展望広場へと誘ってくれた。沢山の小学生が見学に来ているのに混じって午前11時からの高位常用洪水吐設備から観光放流があり30m<sup>3</sup>/sの水量が放流されるのを「ワイワイ」と言いながら見学した。何しろ高さ156mと言う巨大設備、コップ一杯の水もここを通過

くと思うと感動せずにはいられない。

「エネルギーの館」に向かう。ここで宮ヶ瀬ダムについて①下流の洪水時の流量の調節、②流水の正常な機能の維持、③水道水の供給、④水力発電、⑤観光と様々の役割がありその為の水源として道志村の意義など映像による解説があった。道志の水は世界の船乗り達に「赤道を超えても腐らない水」と賞賛されてきた。昼食はこの美味しい水で作られた和食が出され誰れもがおいしいと好評だった。

最後に道志村の中にある「獅子頭共用栓」を見学。1887年イギリスから600基を輸入された。とてもモダンな形をしている。市民は歓声を上げたと言われているが人々の交流の場としても大いに役立ったに違いない。

暗くなった横浜で明日からの学びを思いながら帰路に向う。

現在世の中でエネルギー問題が大きく取り沙汰されている。大変有意義なバス研修旅行チームメンバーの方御苦勞様でした。



## フェスタ・ヨコハマに招かれて

元神奈川学習センター事務長 二宮 茂男

●地下鉄「弘明寺駅」、放送大学側出口。案内板に「放送大学学習センター」の表示。この文字を一番上にして欲しいと交渉した日は、26年前のこと。階段の上右側に、「放送大学掲示板」、関係者との妥協の産物。この25年間の活躍へ最敬礼です。

●第25回放送大学フェスタ・ヨコハマに招かれた。岡部新学長の記念講演「情報と教育」は満席、放送大学に於けるICT教育の現状と将来、圧巻は、コミュニケーションの場の提供。ご自身で、Twitter、Facebookを駆使して、学生及び関係者とのコミュニケーション、放送大学への呼び込みを実践される学長の熱意に敬意。その後、気さくに、お茶席も、ご一緒していただきました。

●親睦交換パーティーで、学生から何度か声を掛けられた。T氏は、昭和60年度入学、これまで3回卒業され、現在も学生で学び続ける。「最初の入学は独身時代でしたか」との問いに、「子どもを抱えておりました」とのこと。6専攻すべて卒業され、大学院へ進まれる学生もいる。キラキラ人生ですね。

F氏から、「センターだより47号」を拝受、「ピースボートで北半周をめぐる地球一周の旅」の体験。この船旅で得たものは、まず、「自分と向き合うことが出来た」、第2に、「たくさんの友を得たこと」第三に、「ノルディックウォーキングのインストラクター資格を取得」、更に、プチ水先案内人として横浜を紹介されたとのこと。心の充実感が顔に出ておられました。触発されて、私も「センターだより」へ「感想文」を書くことにしました。

●お招きをいただいた、私たちOB、新飯田先生、神代先生、森谷先生、濱田先生の元所長、元事務長は、近藤氏、北村氏、小倉氏と私の8名。ありがとうございました。私は、親睦パーティーの最中も、お世話になりました、日々を、あれこれと、振り返っておりました。私が放送大学にお世話になったのは、昭和59年4月～62年3月。最初の6月間は、横浜国大の職員で、放送大学創設のために設置された、「放送教育開発センター」併任という手弁当でした。深夜に帰宅、翌朝は6時発の一番バスで出勤の繰り返し。何とか、健康を害さずに頑張りました。小さな部屋に、事務長候補者が6名。60年4月の受け入れ学生は2万人が目標、東京タワーから電波が届く地域で、広報活動を展開し続けました。

●神奈川学習センターは、私が、初代事務長ということになっているが、実は、私の前に、故木村 正氏。昭和59年3月に交通事故死。当時、嫌な噂が流れて

いたとか。「学習センター創設」の予算は、5センター分だけ。どこか一つはダメ。東京は人口が多いので2つ。千葉は地元で香月学長の力で安泰。群馬は山腹に電波をぶつけて受信する特殊の使命、埼玉は地元の代議士先生が誘致に熱心なので当確。神奈川が危ない。彼は青くなつたに違いない。幕張の深夜2時頃の当て逃げ、目撃者はいない。私は、翌朝、幕張の病院へ。ご遺族と合流。町田のマンションへの遺体搬送、通夜、告別式、3日間、大雪が降り続いた。仕事熱心で、カラオケ「昴」が18番だった木村さんは、今も、放送大学を見守っている。

●教職員一丸となつての懸命の広報活動だったが、開学当初の学生数は目標に届かず、1万7000名。神奈川学習センターは3297名。東京第一、第二、千葉に次いで、第4位。何とか、面目を保った。

●59年10月、蜘蛛の巣が張っていた、旧横浜国大工学部図書館2階に、仮事務所開設、宮代所長、坂井、高橋、星、徳井4先生、石塚、二宮で、学習センターの建設、什器、機材等の購入、開学記念講演会、開学式、開所式等を含めて、学生受け入れの準備で、大奮闘、わくわくの連日でした。

●学生を受け入れた4月以後、他の大学へ入学出来なかった、大勢の身障者の方々が、待ってましたと入学。「足の裏博士」の平沢東京第2所長と、一緒になっての十人十色の体育実技は、思い出深い。

●四半世紀前の日々、とっておきのあれこれを思い出させていただきました。楽しかった。



二宮茂男（にのみや・しげお）

1936年生まれ。郵便局員を経て、文科省職員へ。50歳前後に、放送大学の神奈川学習センターの創設にかかわる。趣味は川柳。川柳「路」及び横浜文芸懇話会幹事。二宮川柳会講師など。著書に「川柳絵句集 この指にとまって幸せだったかい(2004年 新葉館出版)」、「川柳句集 川柳作家全集 二宮茂男(2009年 新葉館出版)」など。

第25回神奈川学習センター学園祭(フェスタ・ヨコハマ) サークル協議会事務局長 木下 義則

平成23年9月3日・4日の両日、神奈川サークル協議会主催の放送大学神奈川学習センター学園祭「フェスタ・ヨコハマ」が開催されました。

フェスタ・ヨコハマは今年も「出あい、触れあい、学びあい」のコンセプトのもと開催する運びとなりました。四半世紀におよぶ歴史を持つ「フェスタ・ヨコハマ」を25回の節目の年における記念の開催と位置づけ、イベント企画を神奈川サークル協議会が2年間にわたり検討し準備を進めてきました。また3月11日に発生し、未曾有の災害となった「東日本大震災」では、放送大学で学ぶ仲間・同窓生・教職員も多数罹災されました、あの日を境に私たちの生活も大きく変貌しました、微力ではありますが復興の一助になれるよう『がんばろう日本!』をスローガンにかかげ「フェスタ・ヨコハマ」から元気を発信するという思いで取り組みました。

3日のイベントでは、若手実力派落語家の春風亭一之輔さんや歌って踊れる紙切り芸人の三遊亭絵馬さん、お二人の出演による「大岡寄席」・ダンスサークル



が日頃の練習の成果を披露した「ダンス・パフォーマンス」という新たな企画が、また昨年から実施し好評であった「歌声喫茶」等が、多数の観客を迎えて実施されました。

25回を記念して過去の「フェスタ・ヨコハマ」の開催模様をパネルで展示した「第25回記念展示」、各サークル会員が作成した秀作を多数展示した「作品展示コーナー」など両日にわたり運営されました。



4日開催の記念講演会にお招きした講師は今年5月放送大学学長に就任されたばかりの岡部洋一先生です。講演会場には二百人を超える同窓生・学生等が集まり溢れんばかりの状態でした。



演題は「情報と教育」というテーマで、コンピュータならびにインターネットに代表されるICT (Information and Communication Technology) の歴史を振り返り、今日多くの人々に利用されている情報通信技術がどのように形成されてきたのかその発展の様子を詳細に説明していただくとともに、



これらの技術がICT教育 (e-learning) にどのように利用されているか、私たちが新たなサービスとして利用し始めた、「インターネット出願・科目登録」「Web通信指導」や「イン



ターネットにおける授業配信」等々の放送大学における具体例を織り交ぜながら講演され、教育の現場におけるICTの初心者教育の推進、インターネットによる双方向教育の場の確保等の重要性を説かれていらっしゃいました。今後の放送大学におけるICT教育の推進役を学長自らが担当されるということは大変心強いことだと感じるとともに、我々に有益

で貴重な話題を提供していただいた、岡部学長に改めて感謝したいと思います。

記念講演会に続き、恒例の「親睦交歓パーティー」が開催され、合唱団のリードによる学歌斉唱では放送大学の卒業式においてもタクトを振られている岡部学長が快く指揮を引き受けていただき、和やかな雰囲気の中スタートを切りました。パーティーには、ビール・酎ハイ・焼きそば・すし等の定番の飲食料の他、サークル出店によるカキ氷・韓国飲料・コーヒー・中国茶等の提供があり縁日の雰囲気がありました、別会場では同窓会の主催によりお茶席もあり日本の伝統文化に触れ、親睦の輪が大いに広がったことでしょう。楽しい時間は過ぎるのも速く、俳句・川柳大会表彰式の後ビンゴ大会でお開きとなりました。



過去最高の参加者が参集し盛大に開催されたことにお礼するとともに、今後も更なる歴史が築けるよう毎年、学生の英知を結集し学園祭「フェスタ・ヨコハマ」が開催できるようサークル協議会一同努力してまいります。



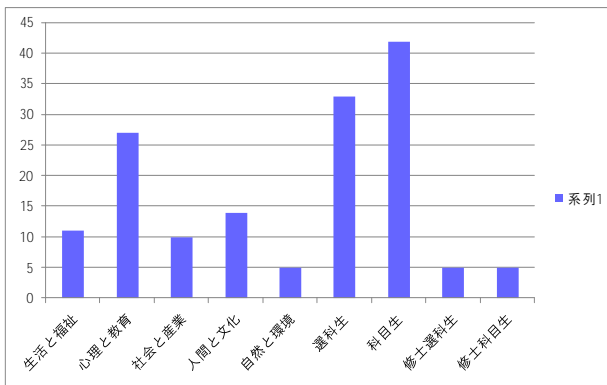
## 平成23年10月 学生生活に関するアンケート Kーサポート機関紙編集チーム

10月2日(日)神奈川学習センターの卒業式には45名の卒業生が集いました。学習センターだより編集部では、前年度同様のアンケートを実施し38名からの回答がありました。回収率は84%。また、同日の入学者の集いには、新入生190名が参加、157名からの回答を得て回収率は、83%でした。

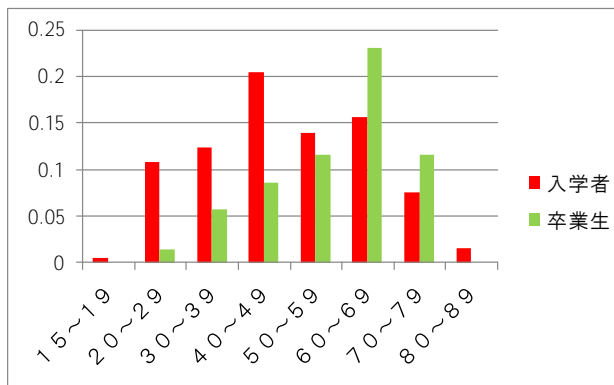
### 1. 入学生へのアンケート(一部項目は、卒業生のアンケートと比較しています。)

第1問は、学生種別(下図)です。全科生、選科生、科目生の割合は、47%、23%、30%で、昨年と比べて全科生の割合が大幅に増えました。前回3月に比べても微増しています。コースでは心理と教育が多く、全学の構成比に近いものとなっています。

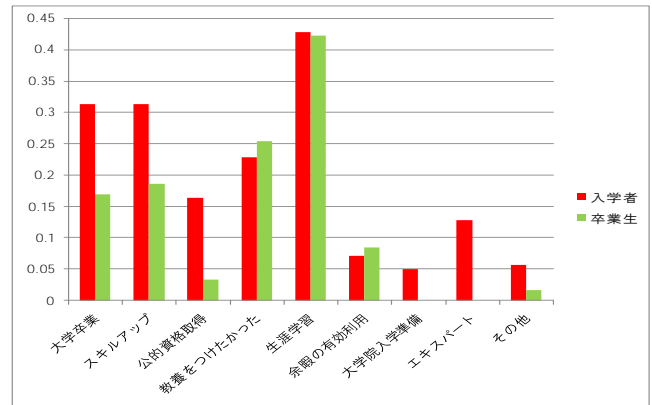
つぎに、年齢構成です。(下図)10代から80代まで年代の方がいます。入学生では、40代をピークに各年代ともある程度の参加者がありますが、卒業生については、60代に25%近いですが、例年より20代30代が少ないのが特徴になっています。



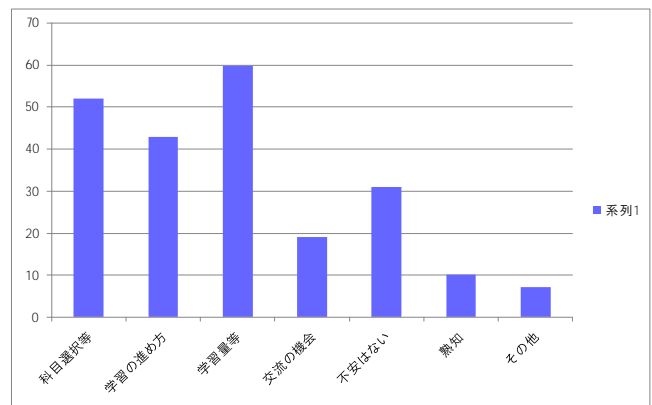
入学動機を見てみましょう。入学生・卒業生とも、生涯学習を上げた方が多く、反面卒業生に大学卒業、スキルアップ、公的資格等を上げた方が少ないのが例年と比べての特徴といえるでしょう。卒業生の年齢が高く、きキャリアアップを目指される方が少ないのが理由とも考えられます。入学生のその他の動機として、樹木医、修士資格取



得のため、高校卒業後の進路を決めるため、大学経営を学ぶため、司法試験予備試験受験科目である一般教養科目対策のため、大学を卒業したのち、大学院などに行きたかった、がありました。



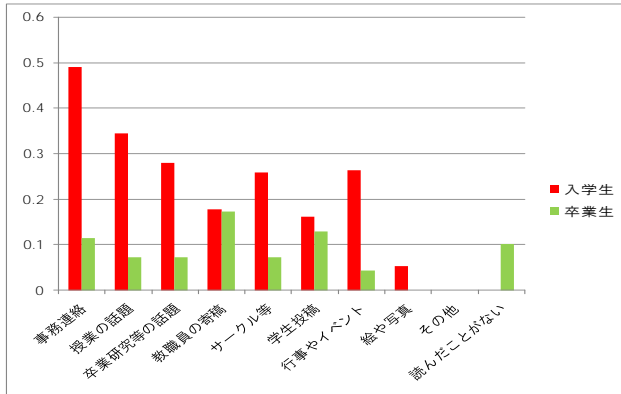
入学生が、どのようなことに不安を感じているかを聞いた質問です。例年より、不安がないという方、学習の進め方が不安等方が減り、学習量や科目選択という放送大学に特徴的な不安点をあげる方が多くなっています。入学生の集いの時点で、放送大学への理解が深まっていると取れる結果になっています。



本誌、学習センターだよりに期待される記事内容(右ページ)は、事務連絡、授業、卒業研究・・・と続きます。卒業生の評価と入学生の期待のギャップについて、行事やイベントの話題についてギャップが少なくなりましたが、授業については、ギャップが増してしまい、センターだよりで、イベントの特集は多かったものの授業の特集は、少なくなっている傾向と一致するようにみえます。授業や研究の話題を今後強化してゆく必要性を感じました。

#### ○Kーサポートへの要望(自由記入欄)

- ・単位認定試験の形式が知りたい
- ・学習センターだよりのページはそのままにしたい。
- ・神奈川の歴史等が開けるガイド付きのウォーキングなど
- ・自主ゼミ
- ・生涯学習を目的に入学しましたが、同じ目的の方達との



情報交換等の交流が持ちたいと思っています。

- ・勉強の理解できないこと勉強方法など教えてほしい。
- ・様々なきめ細かいサポートに感動しました。あたたかい好意にささえられて学習できることは大変ありがたい。
- ・過去の事例を蓄積して、学習上、事務手続き上の疑問等をまとめたQ&Aのような冊子を作って欲しい。
- ・同じコース、同じ科目を受講する人を集めての交流会、先生を交えての茶話会
- ・単位を取るのに必要な学習量・理解度を教えて欲しい。
- ・活動の仕方を具体的におしえて下さい。
- ・地域連携、バス旅行は年2回くらい実施してほしい
- ・学習支援で24時間質疑応答が出来る態勢がほしい。

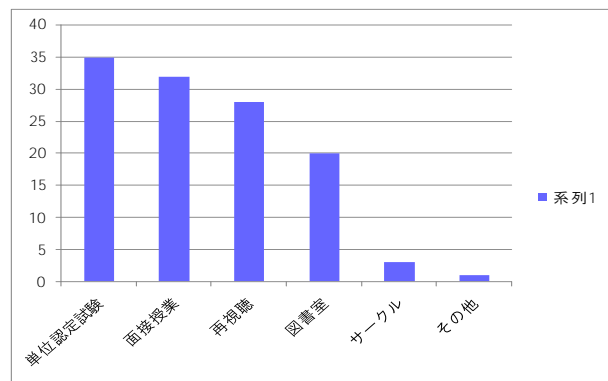
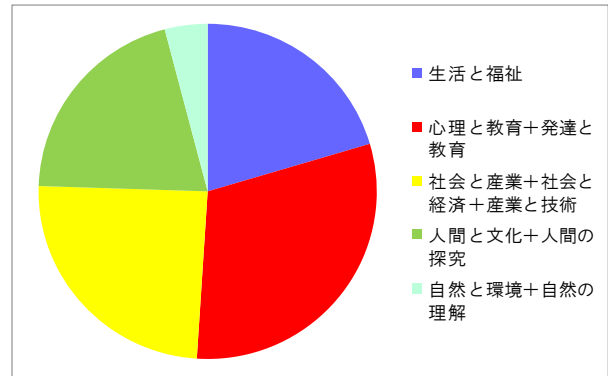
○大学、サークル、その他(自由記入欄)

- ・大学院の授業科目を多くして欲しい。
- ・オープンキャンパスでももう少し具体的な学習の進め方やカリキュラムを組み方アドバイス等が欲しかった。
- ・道案内がみつからず迷いました。京急にも案内があったらと思いました。
- ・サークル活動が大変充実されていらっしゃるのですね。とてもおどろきました！！
- ・入学に際し事務局の方やK-サポートのボランティアの方に色々と同じ、願書の記入もみてもらい助かった。皆やさしく気さくに接していただき不安がふき飛びました。
- ・入学者の集いは楽しかった。しかし質問を受け付けるということが直接なかったため、それだけが残念。
- ・情報が一方方向になりがちですが、このような集いがあることにより、その不安が解消されてとてもよい。
- ・入学者の集いに参加して、多くの方と共に学ぶので頑張ろうと思いました。
- ・サークルの種類がもう少しあるといいと思いました。
- ・誰にでも開かれている大学はすばらしいと思います。これからずっと参加して勉強していきたいと考えています。
- ・私は短大卒ですが最近大学院卒の看護師も多く、学士を取りいづれ院へ進みたい。その情報を提供してほしい。

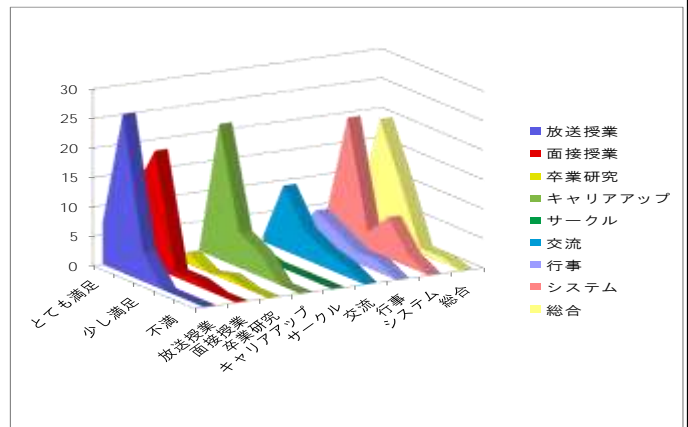
## 2. 卒業生へのアンケート

所属コース(専攻)は、教育と心理(旧発達と教育)が最多で1/3超占めるなど例年通り。コースと専攻では、コース卒業が約3/4となりコースへの移行が進んでいる。

学習センターの利用については、単位認定試験と面接授業が90~80%ほど 再視聴も70%と利用度は高い。



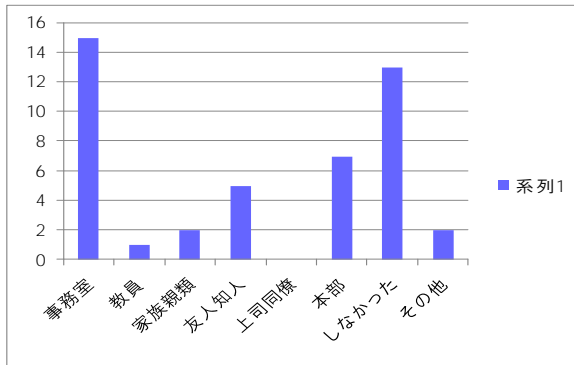
次に、卒業生が放送大学の授業やシステムと、放送大学での交流についてどのように感じているか、9項目で満足度を伺ってみました。



面接授業、放送授業と授業に対する満足度がとても高い傾向は、例年通りです。今回から、満足度の選択項目から「ふつう」をなくして6段階評価としました。今まで、ピークが2つあるものが複数あったのですが、今回ははっきりした2つのピークは、システムなど、だけになっています。それでも授業以外の項目では、小数ですが満足度の低い層があることも確かです。卒業研究、サークルに関しては、履修・参加率は低調になっています。(といっても、神奈川学習センターは、卒業研究履修者は極めて多く、サークル活動も活発です。)

困ったときに誰に相談したか？(図は次項)の問いに(K-サポートは除く)は、誰にも相談しなかった方が前回同様30%に上り、友人・知人に相談した方が半減してい

ます。一方、事務室に相談した方は増加しました。



○大学やK-サポートから、支援を受けたかったこと

- ・教科の選択の仕方
- ・どのように、レポートを書くか、単位を取って行くか。
- ・卒業研究について

○自由記入欄

- ・生涯学ぶことの素晴らしさ!!! 元気の源
- ・You Tubeには、かなりの数の受講科目に関連する解説付き映像があります。英語の能力があれば、放送教材を十分に補完できると思われるので、視聴室で放送大学が保有しているこのような映像を見れないのでしょうか?
- ・学習センターに洗面所(手を洗う場所)がほしい
- ・今後も、「生涯学習」として健康な限り学習を続けたい
- ・学習センターに相談したことがあるが一回だけ捏りの説明があり、本部に問い合わせ修正が出来ました。その時のみでセンター事務室の対応はとても良好でした頼りになります。
- ・面接授業の先生方、職員の人々にお世話になりました。親切な対応で、楽しく安心の学生生活でした。
- ・老若男女、色々な方々と談話が出てよかった。日本の古典芸能など面接授業は面白い。継続入学しますが、好評の面接授業の再受講や上田惇生さんのドラッカー・・・の授業など組み込まれたら、楽しくなりますね。

## 入学者の集い



10月2日(日)神奈川学習センターにて、第2学期の入学者の集いが開催されました。開会の30分も前から集いを待ち

わびた新生が集まり始め、昨年度を上回る190名が参加する集いになりました。渡邊所長の実践的な学びに関する祝辞



のあと、教職員の紹介、合唱団の演奏、学習センターの利用方法の説明などへと続き、最後にK-サポートとサークルの紹介がありました。自分ひとりで学習が多い放送大学ですが、教職員、先輩学生のサポートと自分と同じように学んでいる多くの仲間がいることも、新生のみなさん実感されたのではないのでしょうか。



## 平成23年度1学期学位記授与式

10月2日(日)午後、神奈川学習センターにて、平成23年度第1学期の卒業証書・学位記授与式が行われました。神奈川学習センターの卒業生101名のうち45名の方が参加され渡邊所長から一人一人に学位記が手渡され、学問の進歩が技術の進歩をもたら



し、技術の進歩や社会の変化に伴って学問が変わってゆくことや、東日本大震災を例に地域の大切さと生涯学習の生かし方などについて話されました。



式の後には、記念写真と同窓会主催による卒業祝賀会が開催され時間の経過を忘れて、思い出話や新しい目標のことを話されていました。



生活と福祉

心理と教育/発達と教育

社会と産業

人間と文化/自然の理解



## 卒業論文のキャンパスネット掲載

神奈川学習センター所属の石田清一さんの卒業研究「二葉亭四迷の人間観について—『浮雲』を中心として」が、放送大学のホームページに掲載されました。次の手順でご覧いただけますので、卒業研究の履修を希望している方、みなさま、ぜひご覧いただければと思います。

放送大学の広報用ホームページ  
「在学生の方へ」を選択



在学生の方  
「キャンパス・ネットワーク・ホームページ」を選択



放送大学 CAMPUS NETWORK HOMEPAGE  
「ログイン」を選択



(IDとパスワードを入力してログインしてください。)



キャンパス・ネットワーク・ホームページ  
「学習情報」を選択



学習情報  
「■卒業研究」を選択



卒業研究  
「卒業研究報告書  
閲覧」を選択



卒業研究報告書閲覧  
「平成22年度」を選択



平成22年度 卒業研究報告書  
「参考卒業研究報告書(全文)」を選択



平成22年度 参考卒業研究報告書(全文)  
「人間と文化」を選択



平成22年度 参考卒業研究報告書(全文)人間と文化  
「石田 清一 二葉亭四迷の人間観について—『浮雲』を  
中心として 島内 裕子」を選択



(PDF文書で、ご覧いただけます。保存、プリントアウトも  
出来ます。)



### OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、入江、遠田、笠井、吉川、木下、笹崎、  
三國、三野、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

石塚(学習センター事務室)

なお、カット絵は、よーこさんの作品です。

## 事務室カウンターリニューアル

事務室カウンターがリ  
ニューアルされ、車椅  
子の方にも対応した低  
位置のカウンターを含  
め、最大3名同時にカ  
ウンターにて事務手続  
きができるようになり  
ました。



講義室番号が東側の部屋から第1、第2・・・とい  
うように振りなおされ講義室の案内掲示や案内図も新  
しい視認性の高いものになっていま  
す。同時に廊下やロビー、談話室等  
の壁や床も張りなおされました。工事  
中は皆様にご不便をおかけしました。  
ご協力ありがとうございました。



## 東日本大震災まなび一募金のご報告

5月1日から、放送大学の学生・教職員等で被災された  
方を対象に義援金を募ってきましたが8月31日をもっ  
て募集終了し、義援金額15,113円を「放送大学学園  
東北地方太平洋沖大震災義援金」口座に送金いたし  
ました。ご協力ありがとうございました。

## K-サポートからのお知らせ

### ○学習相談チーム

K-サポート学習相談、12月18日までの土曜  
日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2  
階、談話室の相談コーナーで行っています。予約  
は不要です。放送大学での学習に関して困ってい  
る点に限らせていただきますが、まずは気軽に何  
でも相談にきてください。12月1日までに提出する  
「通信指導」についても、助言や指導いたします。

学習センターだよりでは、みなさまの投稿を募集しています。  
送り先、お問い合わせは、ksupport@ouj.ac.jp または、  
学習センター事務室、編集部員まで。

## 学生サークルからのお知らせ

### ○神奈川放友会

神奈川放友会は「交友を楽しみながら放送大学で学習を続ける会」です。

\*\*\*\*\*主な活動\*\*\*\*\*

★会員相互研究発表 ★リクリエーション

★会内同好会の活動 ★パソコン教育活動

11月「パソコン勉強会」○11/2ワード○11/9  
エクセル○11/16画像処理○11/30パワーポ  
イント11月25日(金)

旅に行こう会→海洋研究所等12月18日(日)忘  
年会→余興・カラオケ有り。

年会費:2千円;但し10月新入会員は千円

ホームページ→<http://kanagawa-hoyukai.jp/>

文書責任者 神奈川放友会 金田 保男

### ○韓国語同好会

・第2回韓国研修旅行実施;12月6日(火)～9

日(金)★釜山→KTX(韓国新幹線)→ソウル

★釜山放送通信大学・サークルとの交流

★楊平(元講師・横国留学生)訪問

・例会案内:第1,3土曜日 10:00～12:00  
(通常クラス)

11:30～13:00(初級クラス)13:00～15:00  
(自主学習)

入会随時、見学自由 ぜひどうぞ!!

### ○放大きながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第1,第3水曜日 13時30分～15時  
30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:月1回、「東海道五十三次」実  
施中。名所旧跡文化施設等も対象

★ウォークラリー:横浜市中区主催に毎年参加

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:佐々木恭夫Tel/Fax045-871-7700

E-mail [ugk37913@nifty.com](mailto:ugk37913@nifty.com)

### ○人間学研究会

1. 例会の予定(いずれも午後1時開会)お問い合わせ

・参加申し込み:安田武夫TEL045-775-0879

・11月 5日(土)「幕末期の在日外国公館について」

・12月11日(日) (内容未定)

・1月14日(土) (内容未定)

2. 歩きましょう

(お問合せ:大出鍋蔵 TEL046-841-7937)

・11/24 「南房総花海街道ウォーク(館山～千倉)」

・12/ 2 「第4回富士裾野ぐるり一周ウォーク」

・12/22 「第2回南房総花海街道ウォーク」

### ○中国語学習会

☆学習日:第一、第三日曜日

☆学習時間:10時～12時 中級(王励老師)

13時～15時 初級(楊雪老師)

我が国の文化、言語などに影響を与えた  
国、近くて少し距離感のある国、難しいことは  
さておき純粋に中国語を楽しんでいます。学  
習日にぜひ見学にいらしてください。

☆連絡:万場(まんば)由美子

(046-293-5521)

### ○うえるかむKanagawa

☆例会は毎月第2第4水曜日(変更もあり)

午前中はアメリカ出身のRichard先生との英会話。

午後にはEnglish songsとGroup study。午前、午後と  
も自分の能力に合うクラスを選択できます。初級、  
中級、上級

☆勉強会の他にも「ゲスト講演会」や「うえるかむ名  
画座」を開催。11月30日(水)、1時15分より「キリマ  
ンジャロの雪」を上映します。一緒に映画を楽しみ  
ましょう。

☆活動の様子はHPをご覧ください。

URL <http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>

☆英語に興味のある方、一歩踏み出してみませんか?  
楽しい仲間がいつでも「うえるかむ」です。

☆渋谷記

☆問い合わせ:星(045-844-9647)

[reikosunflower@yahoo.co.jp](mailto:reikosunflower@yahoo.co.jp)

## ○ダンスサークル（社交ダンス）

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日  
時間 午後2時～4時まで 終了後、談話室にて雑談、参加は自由です。

費用 年会費 入会時に1000円 レッスン料  
月1500円 2ヶ月(偶数月)毎に集めます。

場所 第7講義室

その他 全科履修生の選択科目である体育実技(1単位)が取得できます。年1回研修と親睦を兼ねて楽しい一泊旅行を行っています(希望参加)レッスンの見学は自由です、どうぞいつでもおいでください。

お問い合わせ 放送大学ダンスサークル  
宮川 Tel/Fax 045-933-9753

## ○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

毎年学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱います。今年は震災のため中止になってしまいました。発声法。柔軟体操と力を入れた指導を受けています。また“歌声喫茶”を設け仲間との親睦を深めています。気軽に見学においで下さい。

場所 大岡地区センター（神奈川学習センターの向い側）

第1、第3水曜日 午後6時～8時30分

連絡先 家田 0466-34-7545

赤松 044-288-0655

## ○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、看護学士と放送大卒を目指す方、看護師試験を受ける方、医療関係、福祉関係のキャリアアップや認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定

- ・11月6日(日)10:00 学習センター第6講義室
  - ・12月4日(日)10:00 学習センター講義室未定
  - ・1月15日(日)10:00 学習センター講義室未定
- 会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

## 神奈川同窓会だより

☆弘明寺サロン 好調にスタート

8月17日1回目の弘明寺サロンが開催され20名を超える会員が参加して行われました。卒業生の「出会う」「触れ合う」「語り合う」場所ができたことを実感しました。

☆フェスタ・ヨコハマで活躍

9月3、4日に開催されたフェスタ・ヨコハマで、「放送大学叢書販売」「お抹茶コーナー」「ビンゴ大会」「フォースタープランの上映」を行いました。叢書販売ではこれまでに90冊を超えるまでになりました。利益は社会貢献活動に充てる予定です。

☆卒業祝賀会を行いました

10月2日卒業証書・学位記授与式のあと祝賀会を開催しました。卒業生22名が出席され、和やかな中で卒業の喜びの発言が相次ぎました。

☆今後の予定です

11月26日(土)「秋の企画行事」を行います。見学先は生田緑地にある、川崎市立日本民家園、川崎市岡本太郎美術館です。

第4回 放送大学神奈川学習センターと県央8市との公開学習会

# 地域に活かそう生涯学習の成果Ⅱ

## 生涯学習を楽しみ 地域に元気を!

◆日時:平成23年11月19日(土)13:00~16:45

◆会場:秦野市立本町公民館  
(秦野市入船町12-2 秦野駅北口より徒歩12分)

◆定員:150名(無料)

◆参加申込方法:下記の申込み先へ電話でお申し込み下さい。(先着順)

主催:放送大学神奈川学習センター  
共催:厚木市・大和市、相模原市・秦野市・伊勢原市・海老名市・座間市・綾瀬市各教育委員会



第1部 アトラクション(マリンバ演奏など) 13:00~13:15 (15分)  
パーカッショングループ「フォーライフ」

第2部 事例発表 13:15~15:05 (110分)

【厚木市】	「あつぎ生涯学習リーダー会」	新井 聡子 (有希館)
【秦野市】	「おはなしかぐや姫」	森 藤 由子
【伊勢原市】	「いせはら生涯学習ボランティア協会」	三浦 尚 悠
【綾瀬市】	「綾瀬市史跡ガイドボランティアの会」	笠 田 幸 生

休 憩 15:05~15:15

第3部 基調講演 15:15~16:45 (90分)  
「社会参加に活かす生涯学習の力」  
講師:立田 慶裕 (国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官)

☆展示スペース(生涯学習関係資料) 展示 13:00~16:45

【問合せ・申込み先】  
放送大学神奈川学習センター 電話045(710)1910

# 学習センターからのお知らせ

## ◆ 面接授業科目の追加登録について ◆

平成23年度第2学期面接授業科目の追加登録受付は下記のとおりです。(教養学部生)。追加登録の手続き方法は、「平成23年度第2学期面接授業時間割表」または「各学習センター」へお問い合わせください。

科目登録決定後に空席がある科目については、追加登録期間中に、科目の登録を追加することができます。

原則として、各科目の開講日の1週間前までに受付をしておりますので「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」方も、この機会を活かして面接授業にご参加ください。

### <平成23年度第2学期 追加登録 日程>

空席発表日	10月15日(土)	
追加登録期間*1	10月～1月 開講の授業	10月21日(金)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日*2まで (原則として開講日の1週間前、一部例外あり*3)
	2月開講の 授業	10月21日(金)～1月8日(日)まで

- \*1 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っておりません。
- \*2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、キャンパスネットワークホームページに掲載します。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。
- \*3 授業準備の都合上、追加登録を受付けない科目、または1週間前まで受けられない科目がありますのでご了承ください。

## ◆ 通信指導について ◆

平成23年度第2学期放送授業の「通信指導」提出期間は下記のとおりです。11月4日(金)までに通信指導が届かない場合は、大学本部(043-276-5111)に連絡してください。

**提出期間:11月16日(水)～12月1日(木)大学本部必着**

※ 提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。

※ 通信指導の評価結果により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。

## ◆ 学生募集について ◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。(お一人ご紹介で1点プレゼントの「ご紹介キャンペーン」実施中です。)

**【平成24年度第1学期入学(4月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】**

**募集要項配布期間:11月15日(火)～2月29日(水)**

**出願受付期間 :11月15日(火)～2月29日(水)**

